

瑞穂市で活躍する女性に聞く「男女共同参画」

市では、『「おもしろい」「ささえあい」から始まる瑞穂の夢のまちづくり』をスローガンに、男女がお互いを尊重し、性別に関わりなく個性と能力を活かして充実した生き方ができる社会づくりを目指しています。今回は、瑞穂市消防団女性消防班の佐々木 淳子さんにお話を伺いました。

テーマ：陰で支える消防団員

●女性消防班に入団したきっかけ

平成28年10月に女性消防班が設立され、それまでは女性防火クラブで火災予防などの啓発活動をしていましたが、今まで以上に「私たちのまちを私たちが守りたい」という考えがより一層強くなったことに加え、夫が消防団に入団していたこともあり、女性消防班に入団しました。

いざというときに人を助けられる知識をもっと身につけたい、訓練をして家族や地域の人を守りたいと考えたことが入団のきっかけでした。

●女性消防班としての活動

これまで赤十字救急法の練習、水防訓練、消防学校での研修に加え、出初式などの消防関連の行事の補助や防火啓発活動を行ってきました。岐阜地区の女性消防団員の意見交換会や、全国女性消防団員活性化大会へも参加しました。

長年、男性を中心に運営されてきた消防団に、女性消防班が設立され、どう関わっていくものなのか、不安もありましたが、女性だからこそ与えられる、安心感を大切に、仲間と声を掛け合いながら女性消防班の活動を一つひとつこなしてきました。

また、私は女性消防班だけでなく、消防団のラッパ隊としても活動しています。活動の範囲を広げながら、自分ができることを精一杯やってきました。

●活動の中で感じるやりがい

女性消防班の活動のやりがいは、救命の知識が得られることです。1分1秒の命の大切さを感じることができます。

ラッパ隊では、男性のラッパ隊の中に入隊させてもらい、毎週練習をしています。男性ラッパ隊員のかたがたに優しく教えていただいたおかげで、今ではしっかりと音が出るようになりました。出初式、入退団式、消防操法大会で男性ラッパ隊と一緒に活動できることがうれし



瑞穂市女性消防班 佐々木 淳子さん(写真右から二番目)

いです。

積み重ねてきたことが身についているなど実感できたときにはやりがいを感ずります。これからも、やりがいを感じられる活動はまだ、たくさんあると思います。

●これからの目標

今後もさらに訓練などを積み重ねていき、知識の習得、技術の向上を目指し、女性消防班として積極的に活動していきたいです。

私たち女性消防班の活動を見ていただき、より多くの女性が入団を希望され、一緒にこのまちを守るための活動を続けていくことができたらうれしいです。

安心安全で笑顔あふれるまちでありますように。

●皆さんへ応援メッセージ

恐れずチャレンジしてください。チャンスを逃さず、そして努力し続けてください。

応援して下さるかたが必ずいます。

過去の記事や男女共同参画に関する取り組みについて、くわしくはこちらからホームページをご覧ください。



この記事についてのご意見・ご感想をお待ちしております。

●問い合わせ 総合政策課 ☎327-4128 FAX 327-4103

✉ sougou@city.mizuho.lg.jp URL : <https://www.city.mizuho.lg.jp/3923.htm>

人の動き (1月末現在)

🏠 世帯数 21,655 世帯 (前月比 17世帯増)

👤 人口 55,064 人 (前月比 17人増)

👨 男 27,409 人 (前月比 29人増)

👩 女 27,655 人 (前月比 12人減)

Mizuho City Information Magazine



広報みずほ

発行 岐阜県瑞穂市
〒501-0293 岐阜県瑞穂市別府1288番地
編集 総合政策課
TEL 058-327-4128
FAX 058-327-7414
ホームページ <http://www.city.mizuho.lg.jp>
E-mail sougou@city.mizuho.lg.jp

市の花



あじさい

市の木



桜



市草